



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

エジプト：スィーサーが大統領選挙への立候補意志を発表

1. 大統領選挙への立候補意志を発表

26日夜、スィーサー国防相兼軍事産業相が内閣に辞表を提出した。その後、同人はテレビで大統領選挙に立候補する意志を表明した。演説では、エジプトは失業問題、治安悪化、テロリズムといった困難な問題に直面していると述べた上で、エジプトを再建するため、国民一人一人が困難に立ち向かうべく最大限の努力をするべきである旨強調された。

なお、大統領選挙委員会（選管）はまだ選挙日程を発表していない。そのため、選管日程が発表された後に、スィーサーは立候補申請を行うと思われる。演説の中で、同人は選管によって立候補が認められた後に選挙綱領を発表すると述べた。

【立候補演説の要旨】

- ・国民の声なしに誰も大統領にはなれない。よって私は大統領に立候補する意志を表明する。
- ・エジプトは大きな挑戦のなかにある。弱い経済、若者の失業、病気、治安の悪化、このような状況を我々は受け入れられない。あなた方は安全で自由で尊厳のある生活を送る権利がある。パン、仕事、住宅を手にする権利がある。
- ・我々はテロリストの脅威に直面している。彼らは我々の平和と安全を破壊したいのだ。我々はエジプトを恐怖とパニックとテロから救う。
- ・国民の諸勢力によって作られたロードマップを遵守する。
- ・現在はとても困難で重要な時期である。我々のミッションはエジプトの再建である。
- ・統治者は一人で成功をもたらせるわけではない。私は奇跡を提供できない。しかし私は厳しい労働と努力を提供できる。我々はこれらの課題を最大の努力で乗り越えていかねばならない。国民は努力と忍耐で働かなければならない。私が努力を行なう一番目の人になろう。

2. 新国防相・新総司令官の人事

大統領選挙への立候補表明にともない、スィーサーは国防相と軍需産業相の辞任だけでなく、エジプト軍総司令官も退任することとなる。同日、マンスール大統領によって開催された軍最高評議会（SCAF）は、スィドキー・スブヒー参謀総長を総司令官および国防相兼軍需産業相に指名した（憲法234条の規定による）。また同大統領は、スブヒーを総司令官に昇進させる大統領令を発出した。大統領府筋によれば、27日にスブヒーの国防相就任宣誓式が行なわれる見通し。

（金谷研究員）

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799